

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

10.10速報2

意気天をつく一萬四千の大結集

三里塚・国鉄決戦の爆発・勝利は確実!!

動労千葉第九回定期大会以降一カ月間、全支部役員、活動家を先頭とする奮闘はついに、25を上まわる六四〇名の大動員を貫徹した。
成田運転区での前段集会、第一公園における労組連一五〇〇名の独自集会を圧倒的に実現し、七割・二五〇名決起を実現しぬいた青年部白ヘル部隊を先頭に、動労千葉の大部隊が一四〇〇〇名の歓声と拍手を浴びて本会場へ入場した。

緒戦の勝利を確認し
新たな闘いへ

—北原事務局長が

基調を提起—

勝利！

動労千葉六四〇名の大部隊が会場割れんばかりの拍手に迎えられて登場し、争集会が始まった。

まず司会の伊藤青行隊員が「権力・機動隊の暴力を前面におし出した反対同盟破壊攻撃をコッパミジンに粉碎し、本集会がかちとられた」と、高らかに勝利宣言を發した。

島村良助さんが開会を宣言、小川嘉吉さんの主催者代表あいさつにつづいて、北原事務局長より基調が提起された。

北原事務局長は「権力は機動隊を投入し、成田用水を着工し、凶暴な弾圧を加え三二名を不当にも逮捕したが、三里塚の正当性ゆえに起訴できなかった。二期阻止は成田用水を粉碎することだ。今日、革新政党が闘う姿勢を失くしているなかで、動労千葉は全国の労働者に呼びかけ、代表して三里塚を闘っている。一方、三里塚をはじめ住

民闘争に様々な敵対をくり返す革マルは権力と一体であり一掃しなければならぬ。三里塚は10・10をもって新たな成田用水闘争に決起する。来年3・24に全国集会を開催する」との基調を提起

勝利の確信もって 今秋決戦につき進もう

集会は敷地内代表・小川喜平さん、青行隊代表・宮本衛さん、婦人行動隊長・郡司とめさん、部落代表・小川徳太郎さん、萩原亀二さんから断固たる決意が表明され、最後に集会宣言、団結ガンバリをもつてデモに出

動労千葉を先頭に、国労共闘、全通共闘、教組、自治労など労組連に結集する労働者一五〇〇名の長蛇の隊列の中に、動労千葉の「三里塚・国鉄」路線の正義性、勝利性をはっきりとみとることができた。
この勝利を全組合員が確認し、いよいよ本格段階に突入した、三里塚と国鉄の今秋決戦勝利へむけて総反撃に決起しよう！
（集会での発言要旨は「第3報」に掲載します。）



1万4千名の大結集でかつてない熱気に包まれた三里塚第一公園。会場には180万円の旗

臨調・行革粉碎！ 三里塚ジェット闘争勝利！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！